35013164-01

HD-LBU3/YD シリーズ　BUFFALO

はじめにお読みください
～パソコンへのセットアップ～

本紙は、本製品のパソコンへのセットアップ手順を説明しています。

タブレットでは、「クリック」を「タップ」に読み替えてください。

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

インターフェース	USB 3.0	データ転送速度(理論値)	最大5Gbps(※)
端子	USB3.0 Standard B	電源	AC100V 50/60Hz
動作環境	温度：5～35℃	消費電力	最大18W 平均12W
	湿度：20～80%(結露なきこと)	出荷時フォーマット形式	NTFS(1パーティション)

※ 本製品を、USB 3.0 で規定されている SS モード（最大転送速度 5Gbps）で使用するには、当社製 USB 3.0 インターフェース（または USB 3.0 に対応したパソコン本体）が必要です。

ハードディスクは精密機器です。
慎重に取り扱い、衝撃を与えないでください。
故障の原因になります

万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品形状はイラストと異なる場合があります。

□**ハードディスク** .... **1台**　□**AC アダプター** .... **1個**　□**USB ケーブル** **1本**

＜縦置きの場合＞

＜横置きの場合＞

パワー・アクセスランプが右になる向きで設置してください。

□**かんたん接続マニュアル(テレビ用)** **1枚**

☑**はじめにお読みください(本紙)** **1枚**

※本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が印刷されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。

⚠注意

ハードディスクは精密機器です。慎重に取り扱い、衝撃を与えないでください。
ハードディスクを落とす、倒す、動作中に移動する／置き方を変える　など、また、アクセスランプ点灯・点滅中に電源を抜いたり、USBケーブルを抜くなどは絶対におやめください。ハードディスクの故障の原因になります。

本製品に物を立てかけないでください。
転倒して故障する恐れがあります。

本製品の上や周りに物を置かないでください。
熱がこもり、故障の原因となります。

本製品を積み重ねて使用する場合は、3台以内としてください。

本製品を積み重ねたり、Blu-ray/DVDレコーダーなど(熱を出すもの)の上に本製品を設置しないでください。
下の機器からの熱が、本製品の故障の原因となることがあります。

密閉型のAVラックなど、本製品の外部環境において著しく温度上昇が発生する場合は風通しをよくしてください。

パソコンへの接続

ACアダプターを接続します。

1 ツメに引っかける。

2 端子に接続する。

3 ACアダプターをコンセントに接続します。

4 パソコンへ

USBケーブル（付属品）で、パソコンと本製品を接続します。

底面の保護シールをはがしてください

保護シール

底面のゴム足(1箇所)には、保護シールが貼り付けられている場合があります。保護シールをはがしてからお使いください。

Windowsでご利用の場合

本製品は、出荷時にNTFSという形式でフォーマットされており、接続したあとはすぐお使いになれます。

Macでご利用の場合

出荷時のフォーマット形式NTFSは、Macでは読み込みのみ可能です。本紙「Macの場合」の手順で、再フォーマットしてお使いください。

接続の確認

Windows

正しく接続されていれば、マイコンピュータ／コンピュータに本製品(ハードディスク)のアイコンが追加されます。Windows 8では、スタート画面で[デスクトップ]をクリック→タスクバーの　をクリック→画面左側に表示されている[コンピューター]をクリックします。

Windows 8、7、Vistaの例

アイコン

ドライブ名(アルファベット)は、すでに接続されているドライブの数によって異なります。

数分待ってもアイコンが表示されないときは、以下をお試しください。
①USBケーブルの接続を確認
②USB端子の変更

Mac

正しく接続されていれば、デスクトップに本製品の名前のアイコンが表示されます。（表示されない場合は、キーボードの[Shift]+[Command]+[C]を押してください。正しく接続されていれば、本製品の名前のアイコンが表示されます。）

Windows 7/Vista/XPの場合

本製品をお使いのパソコンに最適な設定にします。

1 コンピュータ（マイコンピュータ）にある「HD-LBU3」をダブルクリックし、「DriveNavi.exe」をダブルクリックします。
※Windows 7をお使いの場合、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、[はい]をクリックしてください。
※Windows Vista をお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。

2

[かんたんスタート]をクリックします。

※ Backup Utility をインストールした場合は、パソコンを再起動した後に各ソフトウェアの設定を行ってください。

以降は、画面の手順に従ってください。

Windows 8の場合

本製品をお使いのパソコンに最適な設定にします。

1 スタート画面で[デスクトップ]をクリックします。

2 タスクバーの　をクリックします。

3 画面右側の[コンピューター]をクリックします。

4 「HD-LBU3」をダブルクリックし、「DriveNavi.exe」をダブルクリックします。
※「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、[はい]をクリックしてください。

5

[かんたんスタート]を選択します。

※ Backup Utility をインストールした場合は、パソコンを再起動した後に各ソフトウェアの設定を行ってください。

以降は、画面の手順に従ってください。

Macの場合

Mac 拡張形式で初期化します。

⚠注意

以下の手順を行うと本製品内のデータは全て削除されますので、必要に応じてバックアップを作成してください。

1 　をクリックして[Finder]を表示します。

2 デスクトップの上のバーから[移動]メニューの[アプリケーション]を選択します。

3 [ユーティリティ]フォルダーを開き、[ディスクユーティリティ]をダブルクリックします。

4

①本製品をクリックします。
②[パーティション]をクリックします。
③[1 パーティション]を選択します。
④[オプション]をクリックします。

5 [Apple パーティションマップ]を選択し、[OK]をクリックします。

6

①フォーマットに[Mac OS 拡張（ジャーナリング）]を選択します。
②[適用]をクリックします。

7 [パーティション]をクリックします。
初期化が始まります。初期化が完了するまでお待ちください。
※「Time Machine でバックアップを作成するために“(ボリューム名)”を使用しますか？」と表示されることがあります。Time Machine を使用してパソコンのバックアップを本製品に保存する場合は[バックアップに使用]をクリックし、Time Machine を設定してください【画面で見るマニュアル「フォーマット／メンテナンスガイド」】。Time Machine を使用しない場合は[キャンセル]をクリックしてください。

8 デスクトップに本製品のアイコン（　）が追加されていることを確認してください。
（表示されない場合は、キーボードの[Shift]+[Command]+[C]を押してください。正しく接続されていれば、本製品の名前のアイコンが表示されます。）

以上で本製品のセットアップは完了です。

取り外しかた

パソコンの電源がOFFのとき

そのままパソコンから本製品を取り外します。

パソコンの電源がONのとき

使用している OS によって、取り外しかたが異なります。次の手順で取り外してください。

⚠注意
- **手順を守らないで取り外すと、本製品の故障の原因となったり、記録されたデータが破損する恐れがあります。**
- **以下の手順で取り外せない場合は、パソコンの電源をOFFにしてから本製品を取り外してください。**

■Windows

※Windows 8をお使いの場合は、スタート画面から [デスクトップ] を選択してから行ってください。

❶ 本製品をUSB接続したパソコンのタスクトレイに表示されているアイコン（ 、 ）をクリックしてから、表示されたメニューをクリックします。

USB 大容量記憶装置 - ドライブ (H:) を安全に取り外します ― クリックします。

❷ 安全に取り外すことができる旨のメッセージが表示されたら、Windows Vista では [OK] を、Windows 8/7/XP では、✖ をクリックします。

❸ 本製品をパソコンから取り外します。

■Macの場合

❶ デスクトップにある本製品のアイコン をゴミ箱にドラッグ & ドロップします。

❷ 本製品をパソコンから取り外します。

torne(トルネ)™/ nasne(ナスネ)™ PLAYSTATION®3でお使いになるときは

torne(トルネ)™/nasne(ナスネ)™/PLAYSTATION®3 でお使いになる場合は、本製品のフォーマット形式を FAT32 にする必要があります。
本製品付属のソフトウェア DiskFormatter2 でフォーマットしてください。
実行の手順については DiskFormatter2 のマニュアルをご参照ください。

Mac でフォーマットを実行する場合には、「Windows (MS-DOS) 形式でディスクをフォーマットする」を選んでください。

※ FAT32 にフォーマット形式を変更すると、HDD に収められていたプログラムやデータはすべて削除されますのでご注意ください。

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
以下のような市販のソフトウェアを用いてデータを完全に消去するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

Acronis DriveCleanser(Acronis 社製) 内蔵・外付ハードディスク用

詳しくは、http://buffalo.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。

※ ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。

注意

本製品の紛失・盗難等には十分ご注意ください

本製品の紛失・盗難・横領・詐取等により、第三者に個人情報が漏えいする恐れがあります。個人情報が第三者に漏えいしたために損害が生じた場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ソフトウェア(Windows)

本製品内の「DriveNavi.exe」には、Windows 用の便利なソフトウェアが収録されています。ソフトウェアの詳細やインストール手順は、画面で見るマニュアル「付属ソフトウェアの概要」をご覧ください。「DriveNavi.exe」を削除してしまった場合は、以下の当社ホームページからダウンロードできます。

http://buffalo.jp/download/driver/hd/hd-lbu3d.html

画面で見るマニュアル

画面で見るマニュアルには、付属ソフトウェアの概要やフォーマット手順など、本紙に記載されていないことが記載されています。本紙とあわせて必ずお読みください。画面で見るマニュアルは、以下の手順で表示できます。

■Windows

DriveNavi を削除した場合、次の方法では画面で見るマニュアルを表示できません。その場合は、下記の当社ホームページに公開されているマニュアルを参照してください。

❶ コンピュータ（マイコンピュータ）にある本製品のアイコンをダブルクリックし、「DriveNavi.exe」をダブルクリックします。
- Windows 8 をお使いの場合、スタート画面で [デスクトップ] をクリック→タスクバーの をクリック→画面左側に表示されている [コンピューター] をクリックします。
- Windows 8/7 をお使いの場合、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックしてください。
- Windows Vista をお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

❷

[マニュアルを読む] をクリックします。

❸ 表示したいマニュアルを選択し、[閲覧する] をクリックします。

以上で、画面で見るマニュアルが表示されます。
※画面で見るマニュアル (PDF ファイル) を読むには、Adobe Reader がインストールされている必要があります。Adobe Reader は、ドライブナビゲーターからインストールできます。
※Adobe Reader の使いかたは、ヘルプを参照してください。
※画面上で見づらいときは、紙に印刷してお読みください。

■Mac

以下の当社ホームページに公開されているマニュアルを参照してください。

画面で見るマニュアルは、以下の当社ホームページに公開しています。

http://buffalo.jp/download/manual/h/hdlbu3yd.html

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
■ 本製品は一般的なオフィスのOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- 一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■ 本製品（付属品等を含む）を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■ 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記載されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限といたします。
■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ず本書をよく読み内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には当社製品だけでなく、当社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、当社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△⃠● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：⚠感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

分解禁止 **本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。**
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止 **AC100V(50/60Hz) 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。**
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制 **電源プラグは、AC コンセントに完全に差し込んでください。**
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止 **電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあります。**
- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック(棚)などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、当社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制 **電気製品の内部やケーブル、端子類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。**
さわってけがをする恐れがあります。

禁止 **濡れた手で本製品に触れないでください。**
感電の原因となります。また、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く **煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに電源スイッチを OFF にし、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。**
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止 **風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。**
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く **液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。**
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止 **USB ケーブル、IEEE1394 ケーブルは、本製品付属のものまたは当社製のものをご使用ください。**
本製品付属または当社製以外の USB ケーブル、IEEE1394 ケーブルをご使用になると、電圧の端子や極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

強制 **小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。**

⚠ 注意

禁止 **パワー・アクセスランプが点滅している間は、電源プラグや USB ケーブルを抜いたり、パソコンの電源を OFF にしたりしないでください。**
データを消失、破損する恐れがあります。バックアップ作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制 **静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。**
人体などからの静電気は、本製品を破損させるおそれがあります。

禁止 **本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
本製品は精密機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。本製品の故障の原因となります。

禁止 **次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。**
- 強い磁界、静電気が発生するところ（故障の原因となります）
- 温度、湿度が本製品の取扱説明書が定めた使用環境を超える、または結露するところ（故障の原因となります）
- ほこりの多いところ（故障の原因となります）
- 振動が発生するところ（けが、故障、破損の原因となります）
- 平らでないところ（転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります）
- 直射日光が当たるところ（故障や変形の原因となります）
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ（故障や変形の原因となります）
- 漏電、漏水の危険があるところ（故障や感電の原因となります）

強制 **各接続端子のチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、本製品の接続端子には手を触れないでください。**
故障の原因となります。

禁止 **本製品の上に物を置かないでください。**
故障の原因となります。

禁止 **通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。**
故障の原因となります。

強制 **本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。**
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

禁止 **シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。**
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止 **ハードディスク内のデータは、必ず他のメディアにバックアップしてください。**
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- パソコンの電源スイッチを OFF にした直後に、すぐに電源スイッチを ON にしたとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止 **本製品内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、製品使用中は布などかぶせないようにしてください。**

付属ソフトウェアのサポートについて（Windowsのみ）

付属ソフトウェアについてのお問合せ先は画面で見るマニュアル「付属ソフトウェアの概要」（PDFファイル）をご覧ください。「付属ソフトウェアの概要」は左記の「画面で見るマニュアル」の手順で表示できます。
※ 株式会社バッファローではお問合せを承っていないソフトウェアもございます。あらかじめご了承ください。

「設定がうまくいかない」、「故障かな？」と思ったら

サポートセンターのご案内

本製品に関するお問合せはサポートセンターで受け付けています。

● お問合せの際は、まず、当社サポートページをご確認ください。
お客様からお寄せいただいたお問合せを元にした、ピックアップ Q&A やよくある質問をご紹介しております。機種や症状別に参照することも可能です。ぜひご覧ください。

PC 86886.jp（ハローバッファロー） (http://www 不要)

● **インターネット (E メール)：** ※お問合せフォームからご質問いただけます。

個人のお客様 PC **86886.jp/mail/** (http://www 不要)

法人のお客様 PC **86886.jp/hojin/** (http://www 不要)

● **電話：** お問合せの際には、あらかじめ下記の項目をご確認ください。よりスムーズに回答することが可能です。1, ご使用の当社製品名　2, パソコンの型番　3,OS のバージョン　4, トラブルの内容をお知らせください。

受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。
詳細は当社ホームページ（86886.jp）をご覧ください。

個人のお客様窓口 **050−3163−1825**
9:30〜19:00 (日曜日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く)

法人のお客様窓口 **050−3163−2000**
9:30〜12:00　13:00〜17:00 (土日祝日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く)

修理のご案内

万が一、製品が故障した場合は、下記のサイトより「インターネット修理予約システムで申込む」をご利用いただき、商品を当社修理センターまでご送付ください。事前に修理を予約いただくことで、修理期間の短縮や修理状況の確認を行うことが可能です。

PC **86886.jp/shuri/**（ハローバッファロー） (http://www 不要)

携帯電話で修理品の送付先を確認することができます。
右のバーコードを携帯電話で読み取ってください。

ユーザー登録のご案内・添付品の販売 (備品販売窓口)

ユーザー登録　PC **86886.jp/user/** (http://www 不要)

ダウンロードの代行サービス (有料)　PC **86886.jp/bihin/** (http://www 不要)

AC アダプター、ケーブル、その他付属品
PC **http://www.buffalo-direct.com**　バッファローダイレクト 検索

コミュニティサイト

●お客様サポートホームページ上において、パソコンや周辺機器の疑問・質問を書き込み、知っている人が答えて解決するコミュニティサイト『ZQwoonetSAK2（サクサク）』をご用意させていただいております。ぜひご利用ください。

PC **http://www.zqwoo.jp/sak?foo=bar**　SAK2（サクサク） 検索

※We provide technical and customer support only to Japanese OS.
We provide technical and customer support only in Japanese language.
We provide technical and customer support only for use in Japan.

当社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。
・お問合せに関する連絡・製品向上の為のアンケート（サポートセンター）・添付品の販売業務（備品販売窓口）
・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上の為の返送後の動作状況確認（修理センター）

2013年4月17日 初版発行　発行 株式会社バッファロー